

2008年輸血業務に関する詳細調査報告

2009年05月12日

回答数（集計対象数）

（1）アンケート依頼施設数

2046 施設

輸血業務に関する詳細調査回答施設

1032 施設（50.44%）

内訳

Web 840 施設（81.40%）

手書き 192 施設（18.60%）

【病床数内訳】

番号	項目	回答数	比率
1	0床	0	0.00%
2	1床～20床未満	3	0.29%
3	20床～100床未満	81	7.85%
4	100床～200床未満	233	22.58%
5	200床～300床未満	159	15.41%
6	300床～400床未満	193	18.70%
7	400床～500床未満	120	11.63%
8	500床～600床未満	82	7.95%
9	600床～700床未満	72	6.98%
10	700床～800床未満	22	2.13%
11	800床～900床未満	28	2.71%
12	900床～1000床未満	12	1.16%
13	1000床以上	27	2.62%
	合計	1032	

（別紙2）輸血過誤による ABO 型異型輸血症例

11 施設

11 症例

（別紙3）ABO 型異型輸血以外の溶血性副作用症例

4 施設

4 症例

（別紙4）重篤な副作用症例

TRALI

20 施設

23 症例

重症アレルギー反応

38 施設

64 症例

輸血後 GVHD

0 施設

0 症例

【2008年輸血業務に関する詳細調査】

輸血による重篤な細菌感染症	2 施設	2 症例
その他	21 施設	30 症例
(別紙 5) 輸血後感染症検査陽性者に関する調査		
HBV	22 施設	37 症例
HCV	20 施設	85 症例
(別紙 6) 手術時輸血製剤詳細調査票	163 施設	
(別紙 7) 院内細胞処理・凍結保存・保管に関する調査		
同種末梢血幹細胞		89 施設
自家末梢血幹細胞		115 施設
自家骨髄		23 施設
血縁者骨髄		39 施設
非血縁者骨髄		45 施設
臍帯血		32 施設
ドナーリンパ球		34 施設
顆粒球採取(アフェレシス法)		22 施設
樹状細胞用単核球採取(アフェレシス法)		15 施設
CTL(細胞障害性T細胞)採取(アフェレシス法)		13 施設
自己リンパ球増幅活性化療法のための細胞採取(アフェレシス法)		13 施設
(別紙 8) 全国輸血部会議副作用ワーキング調査集計	60 施設	

1) はじめに

2-1. 日本輸血・細胞治療学会の認定施設ですか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	4	0.87%	10	3.32%	89	38.36%	103	10.35%
2	いいえ	458	99.13%	291	96.68%	143	61.64%	892	89.65%
	合計	462		301		232		995	

2-2. 詳細項目の回答内容を確認するため事務局からの問い合わせに対応いただけますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	327	76.05%	254	86.10%	198	86.46%	779	81.66%
2	いいえ	103	23.95%	41	13.90%	31	13.54%	175	18.34%
	合計	430		295		229		954	

2-3. 施設でインターネットに接続できる環境ですか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	419	90.30%	292	95.74%	224	96.14%	935	93.31%
2	いいえ	45	9.70%	13	4.26%	9	3.86%	67	6.69%
	合計	464		305		233		1002	

2) 輸血療法関連の診療報酬体系について

2-4. 平成18年度の診療報酬改定で「輸血管理料1および2」が設定されましたが、その取得状況をお尋ねします

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血管理料1を取得している	29	6.65%	58	18.95%	91	38.40%	178	18.18%
2	輸血管理料2を取得している	150	34.40%	82	26.80%	26	10.97%	258	26.35%
3	FFP/RBCの基準をクリアできない	37	8.49%	41	13.40%	24	10.13%	102	10.42%
4	ALB/RBCの基準をクリアできない	94	21.56%	93	30.39%	77	32.49%	264	26.97%
5	FFP/RBC、ALB/RBCの基準をクリアできない以外の理由で取得していない	126	28.90%	32	10.46%	19	8.02%	177	18.08%
	合計	436		306		237		979	

2-5.問 2-4 で「(3)FFP/RBC の基準をクリアできない」又は「(4)ALB/RBC の基準をクリアできない」を選択した施設にお尋ねします

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	肝移植例を除外するとクリアする	0	0.00%	0	0.00%	2	2.00%	2	0.57%
2	血漿交換を除外するとクリアする	7	5.83%	8	6.15%	9	9.00%	24	6.86%
3	肝移植と血漿交換の両方を除外するとクリアする	0	0.00%	0	0.00%	9	9.00%	9	2.57%
4	いずれにしてもクリアできない	113	94.17%	122	93.85%	80	80.00%	315	90.00%
	合計	120		130		100		350	

2-6.平成 21 年度の診療報酬改訂に向け、輸血管理料について忌憚のないご意見(問題点や改善点など)があれば以下に記入して下さい

設問 2-6 意見.xls 参照

3) 輸血副作用について

2-7.輸血用血液による副作用の報告の条件は

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	副作用の有無にかかわらずすべて報告してもらう	229	50.44%	217	71.38%	169	72.53%	615	62.06%
2	副作用があった症例はすべて報告してもらう	157	34.58%	46	15.13%	50	21.46%	253	25.53%
3	中等度以上の副作用があった症例のみ報告してもらっている	44	9.69%	22	7.24%	13	5.58%	79	7.97%
4	その他	24	5.29%	19	6.25%	1	0.43%	44	4.44%
	合計	454		304		233		991	

2-8.病棟・外来から輸血部門への報告の方法は

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	用紙運用	337	73.90%	231	75.49%	150	64.38%	718	72.16%
2	コンピュータ入力	17	3.73%	45	14.71%	67	28.76%	129	12.96%
3	電話・FAX 対応	67	14.69%	21	6.86%	10	4.29%	98	9.85%
4	その他	35	7.68%	9	2.94%	6	2.58%	50	5.03%
	合計	456		306		233		995	

2-9. 報告の率は何%くらいでしょうか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ほぼ100%	261	61.12%	189	63.42%	132	57.39%	582	60.94%
2	81～99%	46	10.77%	57	19.13%	51	22.17%	154	16.13%
3	61～80%	19	4.45%	13	4.36%	22	9.57%	54	5.65%
4	41～60%	7	1.64%	8	2.68%	9	3.91%	24	2.51%
5	21～40%	9	2.11%	3	1.01%	6	2.61%	18	1.88%
6	0～20%	85	19.91%	28	9.40%	10	4.35%	123	12.88%
	合計	427		298		230		955	

2-10. 重篤な副作用(例えば溶血性副作用やショック発生時など)発生時の輸血部門への緊急連絡体制について

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	電話などで輸血担当部署に連絡することとなっている	131	29.11%	124	41.20%	131	56.47%	386	39.27%
2	主治医・診療科で対応し、緊急の連絡はない	148	32.89%	65	21.59%	33	14.22%	246	25.03%
3	整備された緊急対応マニュアルに従って各科が先ず対応する	152	33.78%	100	33.22%	64	27.59%	316	32.15%
4	その他	19	4.22%	12	3.99%	4	1.72%	35	3.56%
	合計	450		301		232		983	

2-11. 副作用発生時の原因製剤回収を行っていますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則すべて回収	210	47.62%	129	42.43%	93	40.09%	432	44.22%
2	重篤な副作用のみ回収	141	31.97%	138	45.39%	129	55.60%	408	41.76%
3	行っていない	55	12.47%	20	6.58%	5	2.16%	80	8.19%
4	その他	35	7.94%	17	5.59%	5	2.16%	57	5.83%
	合計	441		304		232		977	

2-12. 重篤な副作用発生時、輸血責任者・担当者などの対応について

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	主治医と対応策について協議することが多い	184	42.89%	111	38.14%	84	37.17%	379	40.06%
2	主に電話で主治医と連絡し、アドバイスなどを行うことが多い	37	8.62%	86	29.55%	93	41.15%	216	22.83%
3	特に対応せず主治医・診療科にまかせていることが多い	208	48.48%	94	32.30%	49	21.68%	351	37.10%
	合計	429		291		226		946	

2-13. 血漿分画製剤による副作用の報告の方法は

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	用紙運用	233	57.67%	136	50.94%	94	46.31%	463	52.97%
2	コンピュータ入力	14	3.47%	23	8.61%	23	11.33%	60	6.86%
3	電話・FAX対応	95	23.51%	55	20.60%	45	22.17%	195	22.31%
4	その他	62	15.35%	53	19.85%	41	20.20%	156	17.85%
	合計	404		267		203		874	

2-14. 血漿分画製剤を使用する前に、患者さんの血液検体を保存していますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	100	23.42%	43	14.38%	21	9.68%	164	17.39%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	12	2.81%	1	0.33%	0	0.00%	13	1.38%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	87	20.37%	37	12.37%	33	15.21%	157	16.65%
4	保存していない	228	53.40%	218	72.91%	163	75.12%	609	64.58%
	合計	427		299		217		943	

(1)又は(2)の場合、保存期間は何ヶ月ですか

保存期間	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1.0～5.9ヶ月	10	1		11
6.0ヶ月	2	1		3
12.0ヶ月	7	3		10
12.1～23.9ヶ月	1			1
24.0ヶ月	38	22	12	72
36.0ヶ月	6	7	2	15
48.0ヶ月		1	1	2
60.0ヶ月	6			6
72.0ヶ月以上	5		2	7
永久保存	12	5	1	18
施設数	87	40	18	145

2-15.過去1年間(2008年1月～2008年12月)に輸血過誤によるABO型異型輸血、間違った同型輸血が発生しましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	2	0.43%	5	1.65%	8	3.45%	15	1.51%
2	ない	458	99.57%	298	98.35%	224	96.55%	980	98.49%
	合計	460		303		232		995	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1症例	2	5	7	14

2-16.過去1年間(2008年1月～2008年12月)にABO型異型輸血につながるようなインシデント『実際には異型輸血は行われなかったが、システムにより防御できたものを指します』が発生しましたか。

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	77	17.46%	83	28.14%	92	40.89%	252	26.22%
2	ない	364	82.54%	212	71.86%	133	59.11%	709	73.78%
	合計	441		295		225		961	

2-17.患者検体の取り違え(実際には異型輸血は行われなかった症例)

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	15	19.48%	30	37.04%	54	58.70%	99	39.60%
2	ない	59	76.62%	50	61.73%	37	40.22%	146	58.40%
3	不明	3	3.90%	1	1.23%	1	1.09%	5	2.00%
	合計	77		81		92		250	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1 症例	11	24	27	62
2 症例	3	4	11	18
3 症例		1	6	7
4 症例		1	4	5
7 症例			1	1
施設数	14	30	49	93

2-18.血液型判定ミス(実際には異型輸血は行われなかった症例)

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	9	11.69%	6	7.59%	5	5.49%	20	8.10%
2	ない	67	87.01%	71	89.87%	86	94.51%	224	90.69%
3	不明	1	1.30%	2	2.53%	0	0.00%	3	1.21%
	合計	77		79		91		247	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1 症例	8	4	3	15
2 症例			1	1
5 症例	1			1
16 症例			1	1
施設数	9	4	5	18

2-19.検査室内での血液型転記ミス（コンピュータ誤入力、検査伝票への誤記など）

（実際には異型輸血は行われなかった症例）

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	35	45.45%	25	31.25%	15	16.48%	75	30.24%
2	ない	40	51.95%	53	66.25%	76	83.52%	169	68.15%
3	不明	2	2.60%	2	2.50%	0	0.00%	4	1.61%
	合計	77		80		91		248	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1 症例	27	22	14	63
2 症例	5	3		8
3 症例	1		1	2
5 症例	1			1
施設数	34	25	15	74

2-20.病棟等での血液型転記ミス（カルテ、ベッド、輸血伝票への誤記など）

（実際には異型輸血は行われなかった症例）

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	26	33.77%	32	40.00%	27	29.35%	85	34.14%
2	ない	45	58.44%	40	50.00%	57	61.96%	142	57.03%
3	不明	6	7.79%	8	10.00%	8	8.70%	22	8.84%
	合計	77		80		92		249	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1 症例	20	19	9	48
2 症例	4	3	7	14
3 症例		5	3	8
4 症例		1	1	2
5 症例		1	1	2
6 症例			1	1
8 症例			1	1
9 症例			1	1
14 症例		1		1
15 症例			1	1
施設数	24	30	25	79

2-21.カルテの血液型の確認ミス(実際には異型輸血は行われなかった症例)

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	8	10.39%	5	6.25%	11	12.09%	24	9.68%
2	ない	66	85.71%	62	77.50%	69	75.82%	197	79.44%
3	不明	3	3.90%	13	16.25%	11	12.09%	27	10.89%
	合計	77		80		91		248	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1 症例	5	5	6	16
2 症例	1		2	3
4 症例			1	1
20 症例			1	1
施設数	6	5	10	21

2-22. バッグの取り違い (実際には異型輸血は行われなかった症例)

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	1.32%	2	2.50%	4	4.40%	7	2.83%
2	ない	73	96.05%	71	88.75%	81	89.01%	225	91.09%
3	不明	2	2.63%	7	8.75%	6	6.59%	15	6.07%
	合計	76		80		91		247	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1症例	0	2	4	6

2-23. 患者の取り違い (実際には異型輸血は行われなかった症例)

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	6	7.79%	6	7.41%	4	4.40%	16	6.43%
2	ない	68	88.31%	68	83.95%	80	87.91%	216	86.75%
3	不明	3	3.90%	7	8.64%	7	7.69%	17	6.83%
	合計	77		81		91		249	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1症例	5	6	4	15
2症例	1			1
施設数	6	6	4	16

2-24. ABO 異型輸血以外の重篤な溶血性副作用が、過去1年間(2008年1月～2008年12月)に発生しましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	2	0.44%	4	1.33%	5	2.16%	11	1.12%
2	ない	452	99.56%	296	98.67%	226	97.84%	974	98.88%
	合計	454		300		231		985	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1 症例	1	1	5	7

2-25.過去1年間(2008年1月～2008年12月)に輸血関連急性肺障害(TRALI)を経験されましたか(疑い例も含む)

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	5	1.10%	7	2.30%	24	10.39%	36	3.63%
2	ない	451	98.90%	297	97.70%	207	89.61%	955	96.37%
	合計	456		304		231		991	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1 症例	5	7	19	31
2 症例			5	5
施設数	5	7	24	36

2-26.過去1年間(2008年1月～2008年12月)で重症アレルギー反応が、発生しましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	6	1.32%	16	5.35%	42	18.58%	64	6.54%
2	ない	448	98.68%	283	94.65%	184	81.42%	915	93.46%
	合計	454		299		226		979	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1症例	3	10	16	29
2症例	1	3	14	18
3症例		3	5	8
4症例	1		2	3
5症例			1	1
6症例			1	1
9症例			1	1
施設数	5	16	40	61

2-27.過去1年間(2008年1月～2008年12月)で輸血後GVHDが発生しましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	1	0.33%	0	0.00%	1	0.10%
2	ない	457	100.00%	305	99.67%	228	100.00%	990	99.90%
	合計	457		306		228		991	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

回答なし

2-28.過去1年間(2008年1月～2008年12月)で輸血による重篤な細菌感染症を経験されましたか(疑い例も含む)

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	2	0.44%	1	0.33%	0	0.00%	3	0.30%
2	ない	457	99.56%	303	99.67%	228	100.00%	988	99.70%
	合計	459		304		228		991	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1症例	1	1		2

2-29.過去1年間(2008年1月～2008年12月)で上記(問2-24～問2-28)以外の重篤な副作用が発生しましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	0.22%	5	1.67%	19	8.48%	25	2.55%
2	ない	457	99.78%	295	98.33%	205	91.52%	957	97.45%
	合計	458		300		224		982	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1症例	1	4	10	15
2症例			5	5
3症例			2	2
12症例			1	1
施設数	1	4	18	23

4) 輸血前後の感染症検査について

2-30.輸血前にHBV、HCV、HIVに関する感染症マーカーの検査(輸血前感染症検査)を行うことを知っていますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	知っている	450	98.04%	304	100.00%	231	99.57%	985	98.99%
2	知らない	9	1.96%	0	0.00%	1	0.43%	10	1.01%
	合計	459		304		232		995	

2-31.輸血前にHBV、HCV、HIVに関する感染症マーカーの検査(輸血前感染症検査)を行っていますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行っている	331	71.96%	216	70.82%	175	75.43%	722	72.42%
2	行っていない	129	28.04%	89	29.18%	57	24.57%	275	27.58%
	合計	460		305		232		997	

2-32.問 2-31 で「(2)行っていない」場合、行っていない場合理由はなんですか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	保険で査定されるため	10	8.00%	6	6.82%	7	12.28%	23	8.52%
2	輸血前検体保存を行っているため	89	71.20%	70	79.55%	47	82.46%	206	76.30%
3	行う意味がないため	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	その他	26	20.80%	12	13.64%	3	5.26%	41	15.19%
	合計	125		88		57		270	

2-33.問 2-31 で「(1)行っている」の場合、貴院で実施している感染症検査の項目は 複数回答

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	HBs 抗原(*)	318	98.15%	215	100.00%	171	98.28%	704	98.74%
2	HBs 抗体(*)	144	44.44%	122	56.74%	98	56.32%	364	51.05%
3	HBe 抗体(*)	120	37.04%	93	43.26%	91	52.30%	304	42.64%
4	HBe 抗原	4	1.23%	1	0.47%	6	3.45%	11	1.54%
5	HBe 抗体	4	1.23%	1	0.47%	4	2.30%	9	1.26%
6	HBV-DNA 核酸増幅検査	5	1.54%	3	1.40%	4	2.30%	12	1.68%
7	HCV 抗体(*)	316	97.53%	213	99.07%	168	96.55%	697	97.76%
8	HCV コア抗原(*)	110	33.95%	81	37.67%	83	47.70%	274	38.43%
9	HCV-RNA 核酸増幅検査	4	1.23%	1	0.47%	1	0.57%	6	0.84%
10	HIV 抗体(*)	133	41.05%	121	56.28%	131	75.29%	385	54.00%
11	HIV 抗原 / HIV 抗体同時測定	45	13.89%	28	13.02%	10	5.75%	83	11.64%
	回答施設合計	324		215		171		713	

(*)厚生労働省の推奨する検査項目

2-34.問 2-31 で「(1)行っている」場合、輸血前感染症検査を実施するにあたって取り組んでいることは

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血療法委員会、医長会議などで輸血前感染症検査の実施を周知徹底している	46	14.51%	33	15.71%	32	18.39%	111	15.83%
2	輸血指示があった際に、輸血前感染症検査が行われていないときは検査の実施を促している	49	15.46%	19	9.05%	13	7.47%	81	11.55%
3	必要な検査項目をセットで組んでいる（入院時検査、術前検査、輸血前検査など）	178	56.15%	115	54.76%	88	50.57%	381	54.35%
4	特別な取り組みはしていない（輸血前検体保管をしている）	38	11.99%	37	17.62%	36	20.69%	111	15.83%
5	特別な取り組みはしていない（輸血前検体保管をしていない）	4	1.26%	0	0.00%	0	0.00%	4	0.57%
6	その他	2	0.63%	6	2.86%	5	2.87%	13	1.85%
	合計	317		210		174		701	

「その他」の場合、詳細を記入して下さい

設問 2-34 その他詳細.xls 参照

2-35.厚生労働省の推奨項目 全てを含む 輸血前検査の実施率は、およそどのくらいですか

* 【厚生労働省の推奨項目】 HBs 抗原、HBs 抗体、HBc 抗体、HCV 抗体、HCV コア抗原、HIV 抗体

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	0～20%	156	50.98%	94	44.13%	69	40.59%	319	46.30%
2	21～40%	3	0.98%	7	3.29%	12	7.06%	22	3.19%
3	41～60%	8	2.61%	10	4.69%	15	8.82%	33	4.79%
4	61～80%	12	3.92%	7	3.29%	8	4.71%	27	3.92%
5	81～100%	74	24.18%	45	21.13%	20	11.76%	139	20.17%
6	調査したことがない	53	17.32%	50	23.47%	46	27.06%	149	21.63%
	合計	306		213		170		689	

厚生労働省の推奨項目全てを含む輸血前検査の実施率実施率						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
1～299床	50	0	100	49.20	2460.1	48.35
300～499床	28	0	100	64.78	1813.8	40.17
500床以上	18	0	100	40.37	726.6	40.45
全体	96	0	100	52.09	5000.5	45.11

2-36.厚生労働省の推奨項目の一つ以上を含む輸血前検査の実施率は、およそどのくらいですか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	0～20%	3	0.98%	2	0.95%	3	1.79%	8	1.17%
2	21～40%	2	0.66%	8	3.79%	5	2.98%	15	2.19%
3	41～60%	9	2.95%	8	3.79%	5	2.98%	22	3.22%
4	61～80%	19	6.23%	14	6.64%	25	14.88%	58	8.48%
5	81～100%	236	77.38%	144	68.25%	95	56.55%	475	69.44%
6	調査したことがない	36	11.80%	35	16.59%	35	20.83%	106	15.50%
	合計	305		211		168		684	

厚生労働省の推奨項目の一つ以上を含む輸血前検査の実施率						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
1～299床	55	5.0	100	94.26	5184.2	18.28
300～499床	32	31.5	100	90.66	2901.0	15.85
500床以上	19	1.4	100	85.92	1632.5	24.59
全体	106	1.4	100	91.68	9717.7	18.96

2-37.輸血前感染症検査の保険請求について

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	保険請求している。今まで査定はない。	150	50.68%	79	40.10%	66	41.51%	295	45.25%
2	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求していない。	17	5.74%	15	7.61%	17	10.69%	49	7.52%
3	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求し復活した。	15	5.07%	16	8.12%	8	5.03%	39	5.98%
4	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求したが復活していない。	8	2.70%	5	2.54%	8	5.03%	21	3.22%
5	輸血前感染症検査としては、保険請求していない。	97	32.77%	67	34.01%	44	27.67%	208	31.90%
6	その他	9	3.04%	15	7.61%	16	10.06%	40	6.13%
	合計	296		197		159		652	

2-38.輸血前感染症検査を行えないときは、輸血前の患者血液検体を保存すること(輸血前検体保存)を知っていますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	知っている	432	94.95%	300	99.01%	231	99.57%	963	97.27%
2	知らない	23	5.05%	3	0.99%	1	0.43%	27	2.73%
	合計	455		303		232		990	

2-39.輸血前検体保存について、貴院の実情に一番近いものは

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	403	87.80%	295	96.41%	225	96.57%	923	92.48%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	25	5.45%	8	2.61%	4	1.72%	37	3.71%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	15	3.27%	1	0.33%	2	0.86%	18	1.80%
4	保存していない	16	3.49%	2	0.65%	2	0.86%	20	2.00%
	合計	459		306		233		998	

(1)又は(2)の場合、保存期間は何ヶ月ですか

保存期間	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1.0～5.9ヶ月	18	8		26
6.0ヶ月	9	12		21
6.1～11.9ヶ月	2	3	3	8
12.0ヶ月	22	11	8	41
12.1～23.9ヶ月	2	5	4	11
24.0ヶ月	169	145	137	451
24.1～35.9ヶ月	1	4	2	7
36.0ヶ月	24	20	15	59
36.1～47.9ヶ月	1			1
48.0ヶ月	7	7	6	20
60.0ヶ月	17	7	4	28
60.1～71.9ヶ月		1		1
72.0ヶ月	2	2	1	5
72.0ヶ月以上	4	6	2	12
永久保存	57	21	12	90
施設数	335	252	194	781

2-40.問 2-39 で(1)又は(2)の場合、輸血前検体保存の方法について貴院の実情に一番近いものは

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液型検査や交差適合試験の残りをそのまま保存している	278	65.57%	159	53.00%	96	42.11%	533	55.99%
2	血液型検査や交差適合試験の残りを核酸検査に適合する試験管などに入れ保存している	78	18.40%	71	23.67%	56	24.56%	205	21.53%
3	専用の採血管に採血し未開封のまま保存している	42	9.91%	54	18.00%	56	24.56%	152	15.97%
4	その他	26	6.13%	16	5.33%	20	8.77%	62	6.51%
	合計	424		300		228		952	

2-41.輸血後一定期間を経てからHBV、HCV、HIVに関する感染症マーカーの検査(輸血後感染症検査)を行うことを知っていますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	知っている	442	97.14%	304	99.67%	229	99.57%	975	98.48%
2	知らない	13	2.86%	1	0.33%	1	0.43%	15	1.52%
	合計	455		305		230		990	

2-42.輸血後にHBV、HCV、HIVに関する感染症マーカーの検査(輸血後感染症検査)を行っていますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行っている	264	58.28%	208	68.65%	182	78.79%	654	66.26%
2	行っていない	189	41.72%	95	31.35%	49	21.21%	333	33.74%
	合計	453		303		231		987	

2-43.問2-42で「(1)行っている」場合、感染症検査している検査項目は **複数回答**

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	HBs 抗原	83	33.60%	58	28.16%	60	33.90%	201	31.90%
2	HBs 抗体	22	8.91%	7	3.40%	13	7.34%	42	6.67%
3	HBe 抗体	9	3.64%	5	2.43%	6	3.39%	20	3.17%
4	HBe 抗原	4	1.62%	2	0.97%	2	1.13%	8	1.27%
5	HBe 抗体	3	1.21%	0	0.00%	1	0.56%	4	0.63%
6	HBV-DNA 核酸増幅検査(*)	164	66.40%	150	72.82%	119	67.23%	433	68.73%
7	HCV 抗体	77	31.17%	54	26.21%	53	29.94%	184	29.21%
8	HCV コア抗原(*)	170	68.83%	152	73.79%	125	70.62%	447	70.95%
9	HCV-RNA 核酸増幅検査	9	3.64%	6	2.91%	3	1.69%	18	2.86%
10	HIV 抗体(*)	153	61.94%	138	66.99%	149	84.18%	440	69.84%
11	HIV 抗原 / HIV 抗体同時測定	52	21.05%	48	23.30%	16	9.04%	116	18.41%
	回答施設合計	247		206		177		630	

(*)厚生労働省の推奨する検査項目

2-44.輸血後感染症検査を受検して貰うための貴院の取り組みについてあてはまる方法を全て選択して下さい

複数回答

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血の同意取得時に、輸血後感染症検査を受検するように記載された書面を渡す。	171	66.28%	136	65.70%	119	66.85%	426	66.25%
2	輸血の同意取得時に、輸血後感染症検査を受検するように口頭で説明する(書面なし)。	21	8.14%	15	7.25%	15	8.43%	51	7.93%
3	輸血後の患者に対し、退院時などに、輸血後感染症検査を受検するように記載された書面を渡す。	69	26.74%	61	29.47%	69	38.76%	199	30.95%
4	輸血後の患者に対し、退院時などに、輸血後感染症検査を受検するように口頭で説明する(書面なし)。	8	3.10%	8	3.86%	8	4.49%	24	3.73%
5	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、患者宛に直接郵便などで通知している。	27	10.47%	15	7.25%	7	3.93%	49	7.62%
6	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、主治医宛に文書などで通知している。	58	22.48%	39	18.84%	23	12.92%	120	18.66%
7	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、診療科宛に文書などで通知している。	29	11.24%	18	8.70%	10	5.62%	57	8.86%
8	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、輸血療法委員会、医局会議などにリストを提出している。	19	7.36%	8	3.86%	4	2.25%	31	4.82%
9	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、電子カルテ上にアラートが出る。	10	3.88%	20	9.66%	19	10.67%	49	7.62%
10	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、医師が判断し検査を行う(特に通知は行わず医師にゆだねる)。	26	10.08%	38	18.36%	36	20.22%	100	15.55%
11	特に取り組んでいない	3	1.16%	3	1.45%	2	1.12%	8	1.24%
12	その他	25	9.69%	17	8.21%	11	6.18%	53	8.24%
	回答施設合計	258		207		178		643	

「その他」の場合、詳細を記入して下さい

設問 2-44 その他詳細.xls を参照

2-45.輸血後感染症検査を受検して貰うための貴院の取り組みのうち、最も効果的と考えている方法を一つ選択して下さい

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血の同意取得時に、輸血後感染症検査を受検するように記載された書面を渡す。	65	26.86%	56	28.00%	39	22.81%	160	26.10%
2	輸血の同意取得時に、輸血後感染症検査を受検するように口頭で説明する(書面なし)。	4	1.65%	1	0.50%	2	1.17%	7	1.14%
3	輸血後の患者に対し、退院時などに、輸血後感染症検査を受検するように記載された書面を渡す。	52	21.49%	41	20.50%	54	31.58%	147	23.98%
4	輸血後の患者に対し、退院時などに、輸血後感染症検査を受検するように口頭で説明する(書面なし)。			1	0.50%	1	0.58%	2	0.33%
5	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、患者宛に直接郵便などで通知している。	28	11.57%	15	7.50%	18	10.53%	61	9.95%
6	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、主治医宛に文書などで通知している。	33	13.64%	29	14.50%	8	4.68%	70	11.42%
7	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、診療科宛に文書などで通知している。	12	4.96%	12	6.00%	4	2.34%	28	4.57%
8	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、輸血療法委員会、医局会議などにリストを提出している。	7	2.89%	1	0.50%	1	0.58%	9	1.47%
9	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、電子カルテ上にアラートが出る。	9	3.72%	20	10.00%	27	15.79%	56	9.14%
10	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、医師が判断し検査を行う(特に通知は行わず医師にゆだねる)。	15	6.20%	7	3.50%	6	3.51%	28	4.57%
11	特に取り組んでいない	6	2.48%	9	4.50%	5	2.92%	20	3.26%
12	その他	11	4.55%	8	4.00%	6	3.51%	25	4.08%
	合計	242		200		171		613	

2-46.厚生労働省の推奨項目 全てを含む 輸血後検査の実施率は、およそどのくらいですか

*【厚生労働省の推奨項目】 HBV-DNA 核酸増幅検査、HCV コア抗原、HIV 抗体

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	0～20%	119	47.98%	93	45.81%	81	45.76%	293	46.66%
2	21～40%	26	10.48%	34	16.75%	36	20.34%	96	15.29%
3	41～60%	21	8.47%	17	8.37%	5	2.82%	43	6.85%
4	61～80%	15	6.05%	10	4.93%	7	3.95%	32	5.10%
5	81～100%	23	9.27%	3	1.48%	3	1.69%	29	4.62%
6	調査したことがない	44	17.74%	46	22.66%	45	25.42%	135	21.50%
	合計	248		203		177		628	

厚生労働省の推奨項目全てを含む輸血後検査の実施率実施率						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
1～299床	42	0	100	35.75	1501.5	34.19
300～499床	30	0	85	21.38	641.4	19.74
500床以上	25	0	82	23.27	581.7	24.14
全体	97	0	100	28.09	2724.6	28.43

2-47.厚生労働省の推奨項目の 一つ以上を含む 輸血後検査の実施率は、およそどのくらいですか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	0～20%	79	32.51%	59	29.65%	53	30.46%	191	31.01%
2	21～40%	36	14.81%	38	19.10%	42	24.14%	116	18.83%
3	41～60%	30	12.35%	25	12.56%	16	9.20%	71	11.53%
4	61～80%	19	7.82%	13	6.53%	11	6.32%	43	6.98%
5	81～100%	33	13.58%	11	5.53%	8	4.60%	52	8.44%
6	調査したことがない	46	18.93%	53	26.63%	44	25.29%	143	23.21%
	合計	243		199		174		616	

厚生労働省の推奨項目の一つ以上を含む輸血後検査の実施率						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
1～299床	36	5	100	48.02	1728.6	27.09
300～499床	24	0	88	32.28	774.6	21.24
500床以上	24	0.7	100	35.99	863.7	29.39
全体	84	0	100	40.08	3366.9	26.90

2-48.輸血後感染症検査の保険請求について

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	保険請求している。今まで査定はない。	173	71.78%	129	68.25%	106	63.10%	408	68.23%
2	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求していない。	15	6.22%	11	5.82%	15	8.93%	41	6.86%
3	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求し復活した。	15	6.22%	17	8.99%	10	5.95%	42	7.02%
4	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求したが復活していない。	8	3.32%	8	4.23%	10	5.95%	26	4.35%
5	保険請求していない。	16	6.64%	7	3.70%	9	5.36%	32	5.35%
6	その他	14	5.81%	17	8.99%	18	10.71%	49	8.19%
	合計	241		189		168		598	

2-49.輸血前感染症検査と輸血後感染症検査の今後のあり方についてお聞きします

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血前感染症検査、輸血前検体保存、輸血後感染症検査を現状のまま行う	251	57.97%	143	48.15%	113	50.22%	507	53.09%
2	輸血前感染症検査は省略し、輸血前検体保存と輸血後感染症検査を行う	82	18.94%	97	32.66%	77	34.22%	256	26.81%
3	輸血後感染症検査のみ行う	3	0.69%	1	0.34%	1	0.44%	5	0.52%
4	輸血前検体保存のみ行う	60	13.86%	34	11.45%	23	10.22%	117	12.25%
5	全て行わない	3	0.69%	1	0.34%	1	0.44%	5	0.52%
6	その他	34	7.85%	21	7.07%	10	4.44%	65	6.81%
	合計	433		297		225		955	

【2008年輸血業務に関する詳細調査】

2-50.輸血前後の感染症検査(輸血前検体保管を含む)について、問題点や改善点あるとすればどのような点ですか。重要と考えられるものを5つまでお選びください。

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	費用対効果 (cost effectiveness) の検証	208	47.60%	172	58.31%	136	60.18%	516	53.86%
2	輸血後受診予定がない患者、他院への紹介患者などの輸血後検査実施体制の構築	305	69.79%	208	70.51%	166	73.45%	679	70.88%
3	輸血後検査陽転症例精査時の血液センターの対応	65	14.87%	40	13.56%	28	12.39%	133	13.88%
4	査定されることへの対策	143	32.72%	100	33.90%	69	30.53%	312	32.57%
5	診療報酬点数への収載	212	48.51%	142	48.14%	98	43.36%	452	47.18%
6	国の財政援助が必要	78	17.85%	54	18.31%	47	20.80%	179	18.68%
7	行政の広報活動が必要	59	13.50%	44	14.92%	44	19.47%	147	15.34%
8	継続的に輸血を行っている患者、頻回に輸血を行っている患者への対応	240	54.92%	170	57.63%	133	58.85%	543	56.68%
9	小児への対応	19	4.35%	23	7.80%	49	21.68%	91	9.50%
10	終末期患者への対応	79	18.08%	47	15.93%	31	13.72%	157	16.39%
11	医師の理解不足	159	36.38%	117	39.66%	100	44.25%	376	39.25%
12	病院経営者の理解不足	36	8.24%	17	5.76%	10	4.42%	63	6.58%
13	感染症検査項目が多い(検査項目の絞り込みが必要)	85	19.45%	52	17.63%	33	14.60%	170	17.75%
14	感染症検査項目が少ない(HTLV-1などの検査項目追加が必要)	17	3.89%	8	2.71%	2	0.88%	27	2.82%
15	その他	11	2.52%	7	2.37%	10	4.42%	28	2.92%
	回答施設合計	437		295		226		958	

「その他」の場合、詳細を記入して下さい

設問 2-50 その他詳細.xls 参照

4) -A 輸血とHBV感染について

2-51.過去1年間(2008年1月～2008年12月)に輸血後感染症検査でHBV-DNA又はHBs抗原が陽性であった症例はありますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	10	2.24%	15	4.97%	27	11.64%	52	5.30%
2	ない	284	63.53%	201	66.56%	163	70.26%	648	66.06%
3	把握していない	153	34.23%	86	28.48%	42	18.10%	281	28.64%
	合計	447		302		232		981	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1症例	7	4	17	28
2症例		1	3	4
3症例		2	2	4
4症例		1		1
12症例			1	1
48症例			1	1
施設数	7	8	24	39

2-52.問 2-51 で「(1)ある」場合、輸血前から HBV 感染者であった症例はありますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	5	50.00%	11	73.33%	10	40.00%	26	52.00%
2	ない	5	50.00%	4	26.67%	15	60.00%	24	48.00%
	合計	10		15		25		50	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1 症例	3	3	6	12
2 症例		1		1
4 症例		1		1
16 症例			1	1
47 症例			1	1
施設数	3	5	8	16

2-53.問 2-51 で「(1)ある」場合、輸血による HBV 感染症伝播が証明された症例はありますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	12.50%	0	0.00%	4	16.67%	5	10.87%
2	ない	7	87.50%	14	100.00%	20	83.33%	41	89.13%
	合計	8		14		24		46	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1 症例			4	4
8 症例	1			1
施設数	1			5

2-54.問 2-51 で「(1)ある」場合、HBV 再活性化と診断された症例はありますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	3	33.33%	3	23.08%	13	54.17%	19	41.30%
2	ない	6	66.67%	10	76.92%	11	45.83%	27	58.70%
	合計	9		13		24		46	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1 症例	3		9	12
2 症例			1	1
3 症例		2	1	3
施設数	3	2	11	16

2-55.問 2-51 で「(1)ある」場合、上記(問 2-52、53、54)に該当しない症例はありますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	12.50%	0	0.00%	7	30.43%	8	19.05%
2	ない	7	87.50%	11	100.00%	16	69.57%	34	80.95%
	合計	8		11		23		42	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1 症例	1		6	7

4) -B 輸血とHCV感染について

2-56.過去1年間(2008年1月～2008年12月)に輸血後感染症検査でHCVコア抗原又はHCV抗体又はHCV-RNAが陽性であった症例はありますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	16	3.60%	19	6.29%	16	6.96%	51	5.23%
2	ない	270	60.81%	195	64.57%	168	73.04%	633	64.86%
3	把握していない	158	35.59%	88	29.14%	46	20.00%	292	29.92%
	合計	444		302		230		976	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1 症例	12	6	6	24
2 症例		1	2	3
3 症例	3	1	1	5
4 症例		2		2
5 症例			1	1
6 症例		1		1
9 症例		1	1	2
44 症例			1	1
86 症例			1	1
施設数	15	12	6	40

2-57.問 2-56 で「(1)ある」場合、輸血前からHCV感染者と分かっていた症例はありますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	10	66.67%	17	89.47%	11	73.33%	38	77.55%
2	ない	5	33.33%	2	10.53%	4	26.67%	11	22.45%
	合計	15		19		15		49	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1 症例	7	4	3	14
2 症例		1	1	2
3 症例	2	3	1	6
4 症例		1		1
5 症例			1	1
6 症例		1		1
9 症例		1	1	2
43 症例			1	1
83 症例			1	1
施設数	9	11	9	29

2-58.問 2-56 で「(1)ある」場合、輸血による HCV 感染症伝播が証明された症例はありますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある								
2	ない	13	100.00%	18	100.00%	15	100.00%	46	100.00%
	合計	13		18		15		46	

2-59.問 2-56 で「(1)ある」場合、上記(問 2-57、58)に該当しない症例はありますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	9.09%	0	0.00%	6	40.00%	7	16.28%
2	ない	10	90.91%	17	100.00%	9	60.00%	36	83.72%
	合計	11		17		15		43	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1 症例	1		4	5
2 症例			1	1
3 症例			1	1
施設数	1		6	7

4)－C 輸血とHIV感染について

2-60.過去1年間(2008年1月～2008年12月)に輸血後感染症検査でHIV抗体又はHIV-RNAが陽性であった症例はありますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	0.23%	0	0.00%	2	0.87%	3	0.31%
2	ない	259	58.60%	207	68.77%	186	80.52%	652	66.94%
3	把握していない	182	41.18%	94	31.23%	43	18.61%	319	32.75%
	合計	442		301		231		974	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1 症例	1		2	3

2-61.問2-60で「(1)ある」場合、輸血前からHIV感染者と分かっていた症例はありますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある					1	50.00%	1	50.00%
2	ない					1	50.00%	1	50.00%
	合計					2		2	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1 症例			1	1

2-62.問 2-60 で「(1)ある」場合、輸血による HIV 感染症伝播が証明された症例はありますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある								
2	ない					2	100.00%	2	100.00%
	合計					2		2	

2-63.問 2-60 で「(1)ある」場合、上記(問 2-61、62)に該当しない症例はありますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある					1	50.00%	1	50.00%
2	ない					1	50.00%	1	50.00%
	合計					2		2	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1 症例			1	1

4)ーD ヘモビジランスシステム(輸血患者の感染症伝播や副作用の全国監視体制)について

2-64.日本でのヘモビジランスについてどう考えますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	必要な体制であり、是非参加したい	11	2.73%	20	7.25%	30	13.76%	61	6.80%
2	必要な体制であり、参加を検討したい	159	39.45%	140	50.72%	114	52.29%	413	46.04%
3	必要な体制だが、参加は困難である	210	52.11%	103	37.32%	67	30.73%	380	42.36%
4	必要性を感じないが参加を検討したい	2	0.50%	3	1.09%	1	0.46%	6	0.67%
5	必要性を感じないため参加は困難である	8	1.99%	1	0.36%	4	1.83%	13	1.45%
6	その他	13	3.23%	9	3.26%	2	0.92%	24	2.68%
	合計	403		276		218		897	

5) 血液センターの集約化について

2-65.血液センターの集約化(統合)が行われていることをご存じですか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	知っている	397	87.25%	286	94.70%	227	97.42%	910	91.92%
2	知らない	58	12.75%	16	5.30%	6	2.58%	80	8.08%
	合計	455		302		233		990	

2-66.血液センターには、採血部門、製剤部門、検査部門、供給部門がありますが、どの部門が集約化の対象になっているかご存じですか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	採血部門	1	0.26%	1	0.35%	0	0.00%	2	0.22%
2	製剤部門	12	3.08%	7	2.47%	3	1.35%	22	2.46%
3	検査部門	70	17.95%	42	14.84%	25	11.26%	137	15.31%
4	供給部門	5	1.28%	4	1.41%	1	0.45%	10	1.12%
5	採血部門と製剤部門	5	1.28%	3	1.06%	1	0.45%	9	1.01%
6	採血部門と検査部門	3	0.77%	3	1.06%	0	0.00%	6	0.67%
7	採血部門と供給部門	0	0.00%	1	0.35%	0	0.00%	1	0.11%
8	製剤部門と検査部門	132	33.85%	115	40.64%	114	51.35%	361	40.34%
9	製剤部門と供給部門	4	1.03%	3	1.06%	0	0.00%	7	0.78%
10	検査部門と供給部門	15	3.85%	4	1.41%	4	1.80%	23	2.57%
11	採血部門と製剤部門と検査部門	6	1.54%	1	0.35%	2	0.90%	9	1.01%
12	採血部門と製剤部門と供給部門	3	0.77%	0	0.00%	1	0.45%	4	0.45%
13	採血部門と検査部門と供給部門	2	0.51%	1	0.35%	0	0.00%	3	0.34%
14	製剤部門と検査部門と供給部門	45	11.54%	51	18.02%	39	17.57%	135	15.08%
15	全ての部門	14	3.59%	14	4.95%	16	7.21%	44	4.92%
16	わからない	73	18.72%	33	11.66%	16	7.21%	122	13.63%
	合計	390		283		222		895	

2-67.血液センター集約化の効果はどのようなものとお考えですか(2つまで選択して下さい)

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液センターの財政が健全化する	172	46.61%	123	47.13%	88	41.31%	383	45.43%
2	血液製剤が改定薬事法のGMP（Good Manufacturing Practice：医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準）に適合するようになる	30	8.13%	24	9.20%	24	11.27%	78	9.25%
3	大規模化・自動化により、品質（検査精度・製剤の品質）が均一化し、業務が効率化する	203	55.01%	151	57.85%	126	59.15%	480	56.94%
4	製剤業務を集約することによって広域の需給管理が行いやすくなる（血液製剤が有効に利用される）	178	48.24%	126	48.28%	102	47.89%	406	48.16%
	回答施設合計	369		261		213		843	

2-68.貴施設は基幹センターのエリア内ですか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	157	43.25%	118	44.87%	109	49.77%	384	45.44%
2	いいえ	206	56.75%	145	55.13%	110	50.23%	461	54.56%
	合計	363		263		219		845	

2-69.貴施設の属する地域はすでに集約化が行われていますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	341	89.27%	253	90.04%	193	86.16%	787	88.73%
2	いいえ	41	10.73%	28	9.96%	31	13.84%	100	11.27%
	合計	382		281		224		887	

2-70.血液センターの集約化により貴施設の輸血業務に影響がありましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	135	40.06%	128	51.00%	109	56.48%	372	47.63%
2	いいえ	202	59.94%	123	49.00%	84	43.52%	409	52.37%
	合計	337		251		193		781	

2-71.血液センターの集約化により製剤を供給する血液センター(あるいは供給出張所)と貴施設の距離はと貴施設の距離は

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	92	70.77%	96	77.42%	82	77.36%	270	75.00%
2	近くなった	2	1.54%	0	0.00%	0	0.00%	2	0.56%
3	遠くなった	36	27.69%	28	22.58%	24	22.64%	88	24.44%
	合計	130		124		106		360	

2-72.輸血用血液の定期搬送回数は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	121	96.03%	120	96.77%	101	94.39%	342	95.80%
2	1日あたり1回減少した	4	3.17%	3	2.42%	5	4.67%	12	3.36%
3	1日あたり2回減少した	1	0.79%	1	0.81%	0	0.00%	2	0.56%
4	1日あたり3回以上減少した	0	0.00%	0	0.00%	1	0.93%	1	0.28%
	合計	126		124		107		357	

2-73.輸血用血液の定期搬送時間帯は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	102	81.60%	101	80.16%	82	78.10%	285	80.06%
2	早くなった	1	0.80%	2	1.59%	1	0.95%	4	1.12%
3	遅くなった	22	17.60%	23	18.25%	22	20.95%	67	18.82%
	合計	125		126		105		356	

2-74.悪天候、交通事情などで輸血用血液の搬送が滞る(遅配)ことがありますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	89	67.94%	89	71.77%	79	74.53%	257	71.19%
2	多くなった	17	12.98%	25	20.16%	18	16.98%	60	16.62%
3	少なくなった	1	0.76%	1	0.81%	0	0.00%	2	0.55%
4	経験がないのでわからない	24	18.32%	9	7.26%	9	8.49%	42	11.63%
	合計	131		124		106		361	

2-75.医薬情報担当者の貴施設訪問回数は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	107	82.95%	106	84.80%	88	83.02%	301	83.61%
2	1ヵ月あたり1回程度減少した	8	6.20%	12	9.60%	10	9.43%	30	8.33%
3	1ヵ月あたり2回程度減少した	3	2.33%	0	0.00%	3	2.83%	6	1.67%
4	1ヵ月あたり3回程度以上減少した	0	0.00%	3	2.40%	1	0.94%	4	1.11%
5	経験がないのでわからない(以前から訪問はない)	11	8.53%	4	3.20%	4	3.77%	19	5.28%
	合計	129		125		106		360	

2-76.赤血球濃厚液の緊急搬送を依頼した時の搬送時間は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	103	79.23%	96	76.80%	86	81.90%	285	79.17%
2	10分程度延長した	1	0.77%	11	8.80%	4	3.81%	16	4.44%
3	20分程度延長した	9	6.92%	6	4.80%	11	10.48%	26	7.22%
4	30分程度延長した	3	2.31%	7	5.60%	3	2.86%	13	3.61%
5	40分程度延長した	2	1.54%	0	0.00%	0	0.00%	2	0.56%
6	50分程度延長した	1	0.77%	1	0.80%	0	0.00%	2	0.56%
7	1時間程度延長した	1	0.77%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.28%
8	1時間～2時間延長した	0	0.00%	1	0.80%	0	0.00%	1	0.28%
9	2時間以上延長した								
10	経験がないのでわからない	10	7.69%	3	2.40%	1	0.95%	14	3.89%
	合計	130		125		105		360	

2-77.大量出血時の血液供給は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	77	58.33%	95	76.61%	86	80.37%	258	71.07%
2	供給にかかる時間は延長し、供給数は減少した	7	5.30%	7	5.65%	7	6.54%	21	5.79%
3	供給にかかる時間は延長し、供給数は増加した	6	4.55%	11	8.87%	8	7.48%	25	6.89%
4	供給にかかる時間は短縮し、供給数は減少した								
5	供給にかかる時間は短縮し、供給数は増加した	2	1.52%	0	0.00%	0	0.00%	2	0.55%
6	経験がないのでわからない	40	30.30%	11	8.87%	6	5.61%	57	15.70%
	合計	132		124		107		363	

2-78.赤血球濃厚液(抗原陰性血)の当日依頼に対する供給は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	76	58.02%	87	71.31%	69	65.09%	232	64.62%
2	当日供給が受けられるようになった	5	3.82%	9	7.38%	12	11.32%	26	7.24%
3	当日供給が受けられなくなった	21	16.03%	23	18.85%	24	22.64%	68	18.94%
4	経験がないのでわからない	29	22.14%	3	2.46%	1	0.94%	33	9.19%
	合計	131		122		106		359	

2-79.Rh(-)赤血球濃厚液の当日依頼に対する供給は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	75	56.82%	89	74.17%	82	78.85%	246	69.10%
2	当日供給が受けられるようになった	3	2.27%	3	2.50%	4	3.85%	10	2.81%
3	当日供給が受けられなくなった	12	9.09%	8	6.67%	12	11.54%	32	8.99%
4	経験がないのでわからない	42	31.82%	20	16.67%	6	5.77%	68	19.10%
	合計	132		120		104		356	

2-80.血小板濃厚液の当日依頼に対する供給は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	94	74.02%	92	75.41%	83	79.81%	269	76.20%
2	当日供給が受けられるようになった	9	7.09%	13	10.66%	11	10.58%	33	9.35%
3	当日供給が受けられなくなった	11	8.66%	15	12.30%	10	9.62%	36	10.20%
4	経験がないのでわからない	13	10.24%	2	1.64%	0	0.00%	15	4.25%
	合計	127		122		104		353	

2-81.血小板濃厚液緊急依頼時の供給単位数は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	95	73.08%	100	82.64%	95	90.48%	290	81.46%
2	高単位数の供給が可能になった	2	1.54%	7	5.79%	4	3.81%	13	3.65%
3	高単位数の供給が不能になった	10	7.69%	9	7.44%	5	4.76%	24	6.74%
4	経験がないのでわからない	23	17.69%	5	4.13%	1	0.95%	29	8.15%
	合計	130		121		105		356	

2-82.血液センターへの依頼検査(自施設で同定不能な血液型など)の結果が報告されるまでの時間は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	28	22.22%	35	28.00%	37	34.91%	100	28.01%
2	1～2日程度延長した	21	16.67%	30	24.00%	25	23.58%	76	21.29%
3	3～4日程度延長した	18	14.29%	17	13.60%	16	15.09%	51	14.29%
4	5～7日程度延長した	9	7.14%	4	3.20%	3	2.83%	16	4.48%
5	7日以上延長した	3	2.38%	2	1.60%	6	5.66%	11	3.08%
6	経験がないのでわからない	47	37.30%	37	29.60%	19	17.92%	103	28.85%
	合計	126		125		106		357	

2-83.二次製剤(合成血、洗浄赤血球、解凍赤血球)の供給状況は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	33	25.38%	34	28.10%	48	44.86%	115	32.12%
2	供給までの所要時間が短縮した	0	0.00%	0	0.00%	2	1.87%	2	0.56%
3	供給までの所要時間が延長した	4	3.08%	17	14.05%	29	27.10%	50	13.97%
4	経験がないのでわからない	93	71.54%	70	57.85%	28	26.17%	191	53.35%
	合計	130		121		107		358	

2-84.集約化前に比べ二次製剤(合成血、洗浄赤血球、解凍赤血球)の供給を断られたことがあますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	2	2.44%	4	4.12%	6	6.25%	12	4.36%
2	ない	80	97.56%	93	95.88%	90	93.75%	263	95.64%
	合計	82		97		96		275	

「(1)ある」場合、具体的な製剤名を記入して下さい

製剤名	1～299床	300～499床	500床以上	全体
11時洗浄の洗浄赤血球			1	1
WRC	1			1
ダブルバッグ		1		1
合成血			1	1
合成血、間に合わないと言われたため、やむなくRCCとFFPを使用		1		1
洗浄血小板		1	1	2
洗浄赤血球			1	1
洗浄赤血球、洗浄血小板製剤			1	1
施設数	1	3	5	9

2-85.集約化前に血液センターの技術協力として実施していたことができなくなりましたか(技術協力の意味が分からない場合は、何も選ばないで下さい)

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	9	15.79%	8	10.96%	12	13.64%	29	13.30%
2	いいえ	18	31.58%	39	53.42%	41	46.59%	98	44.95%
3	元々、技術協力契約を結んでいない	30	52.63%	26	35.62%	35	39.77%	91	41.74%
	合計	57		73		88		218	

「(1)はい」の場合、できなくなった技術協力の詳細を記入して下さい 設問 2-85 技術協力詳細.xls 参照

2-86. 医師からの血液製剤に対する苦情は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	91	72.22%	92	77.97%	73	68.87%	256	73.14%
2	苦情が減った	1	0.79%	0	0.00%	2	1.89%	3	0.86%
3	苦情が増えた	14	11.11%	17	14.41%	20	18.87%	51	14.57%
4	経験がないのでわからない	20	15.87%	9	7.63%	11	10.38%	40	11.43%
	合計	126		118		106		350	

「(3)苦情が増えた」場合、具体的に内容を記入して下さい 設問 2-86 苦情内容詳細.xls 参照

2-87. 血液センターの集約化によって生じた業務上の問題点、困っている点などがありましたらご記入下さい

設問 2-87 業務上問題点.xls 参照

2-88. 血液センターの集約化を進めて行くことが必要と思いますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	180	64.75%	115	53.24%	80	46.24%	375	56.22%
2	いいえ	98	35.25%	101	46.76%	93	53.76%	292	43.78%
	合計	278		216		173		667	

「(2)いいえ」場合、理由を記入して下さい 設問2-88いいえの理由.xls 参照

6) 定点観測アンケート調査(洗浄置換・置換血小板について)

2-89. 過去1年間(2008年1月～2008年12月)で洗浄置換もしくは置換血小板輸血を行いましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	7	1.62%	15	5.21%	58	26.24%	80	8.50%
2	いいえ	425	98.38%	273	94.79%	163	73.76%	861	91.50%
	合計	432		288		221		941	

2-90.過去1年間(2008年1月～2008年12月)で洗浄置換・置換血小板は何件実施されていますか

洗浄置換・置換血小板実施件数							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
院内調整	1～299床	2	13	21	17	34	5.66
	300～499床	4	5	64	25.5	102	26.49
	500床以上	31	3	1212	113.55	3520	226.56
	全体	37	3	1212	98.81	3656	209.74
日赤調整	1～299床	5	2	35	17.8	89	13.92
	300～499床	12	1	150	25.17	302	41.81
	500床以上	28	1	210	24.36	682	51.53
	全体	45	1	210	23.84	1073	45.70

2-91.洗浄置換・置換血小板の調製法はどのように実施していますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	洗浄置換	5	83.33%	7	70.00%	26	55.32%	38	60.32%
2	置換	1	16.67%	3	30.00%	21	44.68%	25	39.68%
	合計	6		10		47		63	

2-92.置換液の種類についてお聞きします

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	M-sol	2	50.00%	6	85.71%	7	15.22%	15	26.32%
2	G-sol	1	25.00%	0	0.00%	17	36.96%	18	31.58%
3	A-sol	0	0.00%	1	14.29%	10	21.74%	11	19.30%
4	B-sol	0	0.00%	0	0.00%	1	2.17%	1	1.75%
5	その他	1	25.00%	0	0.00%	11	23.91%	12	21.05%
	合計	4		7		46		57	

2-93.調整工程における不具合はありましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	1	14.29%	5	11.11%	6	10.71%
2	いいえ	4	100.00%	6	85.71%	40	88.89%	50	89.29%
	合計	4		7		45		56	

「(1)はい」の場合、詳細を簡単に記入して下さい

設問 2-93 詳細.xls

2-94.洗浄置換あるいは置換血小板輸血において輸血副作用はありましたか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	1	7.69%	10	17.86%	11	14.47%
2	いいえ	7	100.00%	12	92.31%	46	82.14%	65	85.53%
	合計	7		13		56		76	

「(1)はい」の場合、件数を整数で記入して下さい

件数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1件		1	5	6
3件			2	2
12件			1	1
施設数		1	8	9

「(1)はい」の場合、副作用の種類を記入して下さい

副作用の種類	1～299床	300～499床	500床以上	全体
アナフィラキシー			1	1
悪寒戦慄、胸部圧迫感			1	1
軽症アレルギー反応		1	3	4
軽症アレルギー反応（発疹・蕁麻疹）			1	1
軽症アレルギー反応、血圧低下、喉頭の違和感			1	1
軽症アレルギー反応：皮膚・粘膜症状のみ			1	1
施設数		1	8	9

2-95.臨床効果をどのように確認していますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	CCI	0	0.00%	2	13.33%	8	15.09%	10	13.51%
2	血小板数	6	100.00%	13	86.67%	40	75.47%	59	79.73%
3	未実施	0	0.00%	0	0.00%	3	5.66%	3	4.05%
4	その他	0	0.00%	0	0.00%	2	3.77%	2	2.70%
	合計	6		15		53		74	

2-96.過去1年間(2008年1月～2008年12月)臨床効果(輸血効果)の無かった事例はありますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	1	20.00%	6	40.00%	6	13.33%	13	20.00%
2	いいえ	4	80.00%	9	60.00%	39	86.67%	52	80.00%
	合計	5		15		45		65	

「(1)はい」の場合、件数を整数で記入して下さい

件数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1件			1	1
2件		2		2
3件		1		1
5件	1		1	2
8件			1	1
10件		1		1
40件			1	1
施設数	1	4	4	9

2-97.洗浄血小板についてご意見が有れば記入して下さい

設問 2-97 意見.xls 参照

7) 手術時輸血製剤詳細調査

2-98. 手術時輸血製剤調査に協力できますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	68	17.09%	77	27.90%	88	40.93%	233	26.21%
2	いいえ	330	82.91%	199	72.10%	127	59.07%	656	73.79%
	合計	398		276		215		889	

8) 院内成分採血細胞処理・凍結保存・保管に関する実施状況調査

2-99. 過去1年間(2008年1月～2008年12月)で輸血部または関連する部門で下記の成分採血、細胞処理、凍結、保存を行っていますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	6	1.44%	29	10.18%	127	57.99%	162	17.59%
2	いいえ	411	98.56%	256	89.82%	92	42.01%	759	82.41%
	合計	417		285		219		921	

2-100. 過去1年間(2008年1月～2008年12月)で輸血部または関連する部門で問2-99以外の細胞処理(血管新生療法用の末梢血単核球分画分離など)、培養、凍結・保存を行っていますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	2	0.52%	3	1.21%	21	10.71%	26	3.15%
2	いいえ	380	99.48%	245	98.79%	175	89.29%	800	96.85%
	合計	382		248		196		826	

「(1)はい」の場合、件数を整数で記入して下さい

件数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
1件			6	6
2件			2	2
3件		1		1
4件		1	2	3
5件			1	1
12件			1	1
13件			1	1
20件	1			1
27件	1			1
29件			1	1
57件			1	1
130件			1	1
施設数	2	2	16	20

「(1)はい」の場合、内容を具体的に記入して下さい

設問 2-100 内容詳細.xls 参照

2-101.輸血部または関連する部門以外で細胞プロセッシングが行われていますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	2	0.83%	17	8.85%	19	2.35%
2	いいえ	378	100.00%	238	99.17%	175	91.15%	791	97.65%
	合計	378		240		192		810	

「(1)はい」の場合、内容を具体的に記入して下さい

設問 2-101 内容詳細.xls 参照

「(1)はい」の場合、行っている部門を具体的に記入して下さい

設問 2-101 部門詳細.xls 参照

9) 全国輸血部副作用ワーキング調査について

2-102. 全国大学輸血部会議に参加していますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	2	0.47%	2	0.74%	67	31.02%	71	7.78%
2	いいえ	424	99.53%	269	99.26%	149	68.98%	842	92.22%
	合計	426		271		216		913	